

## 人権文化発表交流会に参加してきました！

第7回人権文化発表交流会が2月5日、大阪府教育センター（大ホール・展示ホール）で開催され、本校3年生松田桃子さんが人権に関する作文の部で優秀賞を受賞し、表彰式に参加しました。人権に関する作文のコンクールは、生徒一人ひとりに人権問題を自らの課題として考えさせることにより、人権尊重の教育の推進を図ることを目的に、大阪府下の高校生を対象にして毎年行われているものです。今年は総数5057の応募があり、そのうち90作品が大阪府教育委員会に提出されました。審査の結果、最優秀賞4作品、優秀賞38作品が選ばれ、冒頭ご紹介したように、本校3年生の松田さんによる「**地球の仲間のために私たちができること**」と題した作文が優秀賞（3年生では4人）に輝きました。授賞式会場で学校の名前と自分の氏名を呼ばれて登壇し、表彰状を授与されました。拍手と写真のフラッシュライトが光って盛大なセレモニーでした。授与式のあと、最優秀賞を獲得した生徒4人が作品を朗読し、観衆の前で発表しましたが、いずれも心を打たれる内容でした。

能勢高校の人権教育は、異文化交流や平和問題、障がい者問題等いろいろな分野について行っています。来年度も学校で、人権問題を自らの課題として考え、作文にまとめる過程で理解を深め、優れたものについては能勢高校の人権教育の成果として応募していきたいと思えます。

後半の舞台発表は16校が行いました。共生教育の一環として取り組んでいるダンスやコーラス・民族舞踊といったパフォーマンスを披露したり、多文化共生・朝鮮文化研究・中国文化研究等をテーマに自校の取り組みについて紹介したりしました。すべての学校の生徒が、自分たちの持っているエネルギーを舞台の隅々まで使って発表する姿は感動的でした。



展示ホールの様子



授賞式の松田さん



舞台発表